



“たいせつ”がギュッと。

阪神電車
HANSHIN ELECTRIC RAILWAY

阪神電気鉄道株式会社

HANSHIN ELECTRIC RAILWAY CO.,LTD.

〒553-8553

大阪市福島区海老江1丁目1番24号

<http://www.hanshin.co.jp/>

NEWS RELEASE

経営企画室(広報担当)

2016年5月24日

報道関係各位

普通用車両5700系(ジェット・シルバー5700)が、 「ブルーリボン賞」を受賞!

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市福島区、社長:藤原崇起)が昨年8月24日から営業運転を開始している普通用車両5700系(ジェット・シルバー5700)が、「鉄道友の会(※1)」が選定する「2016年ブルーリボン賞(※2)」を受賞しました。

これは、5700系車両が、普通用車両5000系・5500系(ジェットカー)の高加減速性能を継承しつつ、最新技術を導入し、旅客サービスの向上による「人へのやさしさ」と環境負荷物質の低減による「地球へのやさしさ」の追求をコンセプトに開発したことが高く評価されたものです。なお、当社の車両がブルーリボン賞を受賞するのは、今回が初めてとなります。

普通用車両5700系の概要は、別紙のとおりです。

※1 「鉄道友の会(会長:須田寛)」は、鉄道知識を広く普及し、鉄道趣味を通じて会員相互の親睦を深め、鉄道の愛護及び発展に寄与することを目的として、1953年11月14日に創立され、会員数3,100名(2015年3月末時点)、賛助会員72法人・団体(2015年12月末時点)を擁する団体です。

※2 「ブルーリボン賞」は、1958年に制定された賞で、鉄道友の会が毎年1回、前年に日本国内で営業運転を開始した新造及び改造車両の中から、全会員の投票結果を基に、選考委員会が利便性や快適性・環境対応・新技術の有効活用などを評価し、最優秀と認めた車両に対し贈られる賞です。なお、昨年は、2015年3月に金沢まで開業した北陸新幹線に投入された新型新幹線車両E7系(東日本旅客鉄道㈱)とW7系(西日本旅客鉄道㈱)が受賞しています。



以上

「普通用車両 5700 系（ジェット・シルバー 5700）」の概要

1 普通用車両 5700 系の概要

当社の普通用車両は、特急・急行の間隙を縫って運転されることから、それらの運行を妨げない高加減速性能が要求されます。この設計コンセプトは、1958 年の初代ジェットカー 5001 形、5500 系（1995 年～）を経て 5700 系に引き継がれ、加減速性能としては、加速度 4.0km/h/s、減速度 4.5km/h/s と日本有数の高性能の車両です。

普通用車両としては 5500 系以来、20 年振りの新型車両であり、1959 年に試作車として製造された 5201 形以来、約半世紀ぶりにステンレス車体を採用していることから、愛称は「ジェット・シルバー 5700」と命名しました。

2 普通用車両 5700 系の主な設備

【環境への配慮・省エネルギー】

- ・ 永久磁石同期電動機を用いた VVVF インバータ制御（電力回生ブレーキ付）の主回路システムの採用により、既存の普通用車両と比較して、消費エネルギーを 60%削減しました。
- ・ 特急・急行の通過待ちで停車する際の客室内の保冷・保温のため、ドア横にお客様自身の操作による扉開閉ボタンを設置しました（関西の大手民鉄としては初採用）。



【ドア横の扉開閉ボタン】

【安全・快適な車内空間の提供】

- ・ 万一の事故や急ブレーキ時に、お客様と車内設備又はお客様同士の衝突を防止するため、吊手や握り棒を増設するとともに、座席の中間・端部に仕切板を設置しました。また、端部の大型袖仕切りは、立客の腰当て、座客のひじ掛けの双方の機能を両立しています。
- ・ 立ち座りがしやすいよう形状を工夫した「ちょい乗りシート」を試験的に採用しています。



【座席端部の大型仕切り】

【旅客サービスの充実】

- ・ 出入口上部に、32 インチハーフサイズの液晶式の車内案内表示器を設置しました。停車駅・乗車案内などの情報を、イラストや大きな文字を用いて分かりやすく表示します。また、4 か国語表示にも対応しています。



【4 か国語対応の車内案内表示器】